

第25号
2020.8

HARMONIA MAGAZINE

ハルモニア マガジン

ありがとう。
これからのはくし

Anniversary



社会福祉法人
ハルモニア

15年の あゆみ

2004年3月15日

- ・法人設立

2005年4月1日

- ・知的障害者通所更生施設「エンゼルハート」事業開始
- ・知的障害者通所授産施設「S E L P あおば」事業開始
- ・地域支援センター「ぱれっと」事業開始

2005年6月1日

- ・知的障害者生活支援センター「ぱれっと」(国庫補助事業)
受託運営開始
- ・障害者就業・生活支援ミニセンター事業(県単独事業)
受託運営開始

2005年12月1日

- ・知的障害者居宅介護事業「みると」事業開始
- ・身体障害者居宅介護事業開始
- ・児童居宅介護等事業開始
- ・藤枝市障害児者ライフサポート事業開始

2006年4月1日

- ・グループホーム「キャメロット」独自に事業開始

2006年6月1日

- ・グループホーム「キャメロット」許可取得

2006年7月15日

- 「みると」・高齢者訪問介護事業開始
 - ・高齢者居宅介護支援事業開始
 - ・高齢者介護予防訪問介護事業開始

2006年9月1日

- ・「みると」藤枝市障害児者ライフサポート事業短期入所事業開始

2006年10月1日

- ・「みると」自立支援法へ移行(居宅介護・重度訪問介護、
障害福祉サービス事業)
- ・地域生活支援事業「みると」移動支援事業開始

2007年4月1日

- ・生活介護事業「エンゼルハート」自立支援法へ移行
- ・就労移行支援事業「あおば」自立支援法へ移行
- ・相談支援事業「ぱれっと」自立支援法へ移行
- ・障害者就業・生活支援センター事業「ぱれっと」受託運営開始
- ・心身障害者生活寮「コーンズ ビーンズ」承認運営開始

2007年5月1日

- ・共同生活介護 共同生活援助「コーンズ ビーンズ」自立支援法へ移行

2008年12月1日

- ・「みると」高齢者居宅介護支援・高齢者訪問介護、
高齢者介護予防訪問介護 事業廃止

2009年2月1日

- ・共同生活援助・介護事業「ハニービー」男性用事業開始

2009年3月20日

- ・共同生活援助・介護事業「ハニービー」女性用事業開始

2009年4月1日

- ・自立訓練事業「エンゼルハート」事業開始(生活介護事業廃止)
- ・生活介護事業、就労継続支援B型事業「あかね」事業開始
- ・知的障害児通園施設「あかしや学園」藤枝市より移管 事業開始

2010年3月1日

- ・地域生活支援・藤枝市ライフサポート事業(短期入所)「みると」事業廃止

2010年4月1日

- ・生活介護事業「エンゼルハート」事業開始(居宅介護・重度訪問介護廃止)
- ・自立訓練(生活訓練)事業「あおば」事業開始

2011年8月1日

- ・就労継続支援B型事業「あかね」事業開始(生活介護事業廃止)
- ・就労移行支援事業「あおば」事業開始

2012年4月1日

- ・旧城南保育園と旧あかしや学園を合併 複合施設「ガゼルの森」事業開始
- ・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業「ぐるんばの広場」事業開始
- ・就労継続支援B型事業「ありす」事業開始

2012年6月1日

- ・指定一般相談支援事業「ぱれっと」事業開始

2013年4月1日

- ・共同生活援助・介護事業「アドニス」事業開始

2013年4月1日

- 「ガゼルの森」・児童発達支援センターとして事業開始
 - ・保育所等訪問支援事業開始
 - ・障害児相談支援事業開始

2015年3月31日

- ・就労移行支援・自立訓練「あおば」事業廃止

2015年10月1日

- ・就労移行支援事業「あおい」事業開始

2017年3月31日

- ・障害者就業・生活支援センター「ぱれっと」事業廃止

2018年3月31日

- ・グループホーム「キャメロット」「ハニービー」閉鎖

2019年4月1日

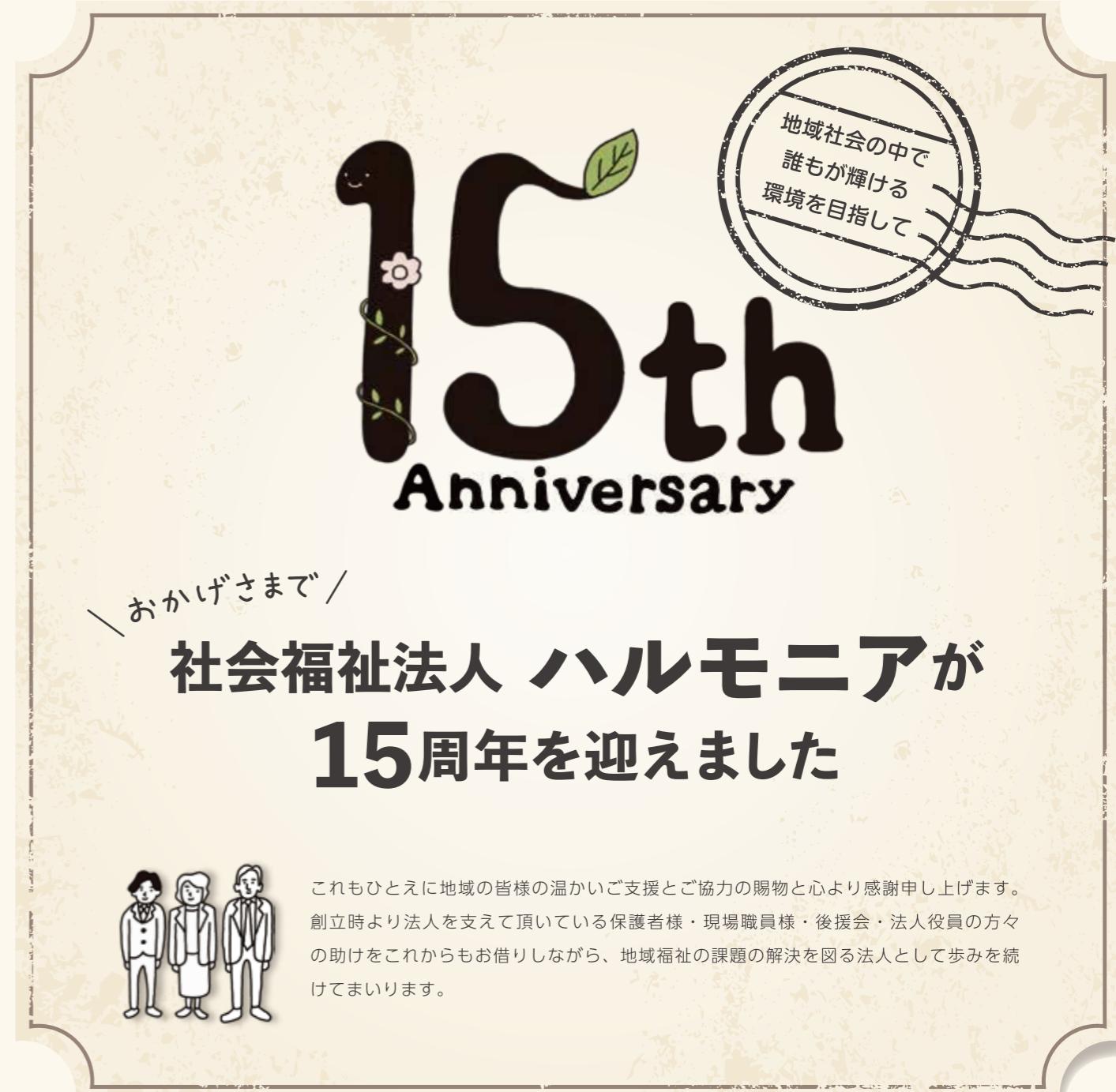
- ・就労定着支援事業「あおい」事業開始

2019年4月30日

- ・指定一般相談支援事業「ぱれっと」事業廃止

2020年4月1日

- ・指定特定相談支援事業「ぱれっと」と指定障害児相談支援事業「ガゼルの森」を一本化し、「ぱれっと」に名称統一



●新理事長のコメント

いつの時代でも社会で一番大切なことは、人々が生き生きと暮らし、幸せを実感できることだと思います。福祉においても、障がい者が地域の中で心身ともに健やかな生活を送ることが強く求められています。「幸せ」の語源は「仕+合わせる」。つまり「人とのつながり」ということです。これからも豊かな連携(ハーモニー)を生み出し、持続可能な福祉社会の実現を目指したいと思います。新型コロナウイルスが深刻な状況下ですが、法人の円滑な運営に向けて誠心誠意頑張る所存です。皆様の温かいご支援とご協力を引き続きお願い申し上げます。



ハルモニア
理事長 澤田祐一



Harmonia Works 02

成人部門 施設外就労

夢を叶えるために日々ステップアップ

利用者の澤本泰成さん

「自立したい」という思いから、澤本泰成さんが館内作業中心の「あります」から「あかね」にステップアップしたのは約3年前。現在は施設外就労先で製品運搬用の空箱を清掃する業務に携わり、仕事への取り組み方や社会人としてのあり方を実践的に学んでいます。夢は上京して自立した生活を送ること。そして大好きなアイドルグループの嵐と同じステージで踊ること。そのために、自分で稼いだ工賃でダンスレッスンに通っています。



職員の声

鈴木沙敏

成人部門 あかね(目標工賃達成指導員)

施設外就労をするようになってからの澤本さんは、作業が困難でも諦めずに前向きな姿勢を見せ、仕事に対する責任感を持つようになりました。同じ就労先で働く仲間を思いやる姿も見受けられ、大きく成長しました。ハルモニアではこれまでに100人以上の利用者の自立を後押ししてきました。利用者が長く職場に定着するためには、本人の努力はもちろん、環境整備や受け入れ態勢など、企業様側のご協力が不可欠です。地域が一体となった就労支援が進むよう、私たちも心掛けていきます。

保護者様の声

Tさん(藤枝市在住)

養護学校を卒業した娘がハルモニアを利用し始めてから14年になります。5年前からはグループホームで暮らすようになり、そこから一人で通所できるようになるなど、ここ数年は特に成長が見られます。親として娘がステップアップしていくことも嬉しいですが、日々の生活の中でやりがいを見つけることが大切だと考えており、純粋に農作業を楽しんでいる声を聞くと安心します。今後も就労支援を希望していますが、本人の成長次第では、ジョブコーチのもと施設外就労にチャレンジするのもよい感じています。

協力者の声

酒向謙次 一里山農園

農福連携には利用者の体力向上や農業分野での雇用創出など、さまざまなメリットがあります。私は漢方薬メーカーを経て系列の物流会社の役員を務め定年退職後、培ったノウハウや人脈を農福連携に生かせないと模索していたところ、当時の大長理事長からご縁を頂き、この農園にやってきました。「生薬」は天然に存在する薬効を持つ産物で付加価値の高い作物です。高付加価値な作物が収穫できれば、利用者の工賃のアップにつながります。また、農作業は太陽の下で自分のペースでできるのもいいところ。利用者のみなさんは笑顔で健康的に働いています。まだ、手探りな部分もありますが、みなさんの未来を照らすような農園にしていきたいと思います。

農業と福祉の可能性が広がる場所

ハルモニアが運営する一里山農園は藤枝市の旧東海道沿いにあります。1ヘクタールほどの畑では一年を通じて様々な野菜が栽培されており、定員20人ほどの利用者が定期的に訪れて雑草の除去、水やり、収穫などの農作業を行っています。採れた野菜は利用者が持ち帰るほかハルモニアが運営する惣菜店でも使われています。畠の一角では付加価値の高い生薬の栽培も始まっており、2020年の秋には収穫される予定です。



Harmonia Works 03

成人部門 農福連携



ハルモニアのしごと



GREAT WORK!



ハルモニアを利用して企業や農園で働くみなさんや、子どもを預ける保護者の方々、職員など、ハルモニアに集うみんなの“声”をお届けします!

みんながひとつになれる場所

Harmonia Works 01

児童部門 ガゼルの森

すべてのお子さまが健やかに育つために



ガゼルの森は「0歳から5歳までの人づくり」の場所。保育所と障がいのあるお子さまに向けた児童発達支援センターとの複合施設として、平成24年に開所しました。お子さまの様々な違いがあるがままに受け入れ、お互いの良さや能力を尊重して共に豊かに生きるための子育てができる環境を整えています。

職員の声

青島由衣 ガゼルの森(保育士／主任)

子どもたちは障がいの「ある」「ない」ではなく、園内にいろいろな人がいること知り、お互いに助け合ったり、理解を深め合ったり、大人には教えないような遊び方を考え出したり、認め合う環境の中で育っています。私たち保育士は障がいについて熟知した上で、全員の子どもたち一人一人に合った保育の方法を探しています。「0歳から5歳まで」という貴重な時間は、その子と保護者の方たちにとって一生に一回の機会です。これからも一つ一つの関わりを大切にていきたいです。

保護者様の声

村松さん(藤枝市在住)

自宅から近く、送迎が便利なガゼルの森を選びました。現在は5人兄弟のうち第4、5子の双子が利用しています。園のお友達と関わることで、表情が豊かになりました。また、障がいのある子どもたちと接する機会が増えることで、発達障がいの兄弟(長男)への理解が深まったように思います。障がいのある子にとってはコミュニケーション能力や社会適応能力の改善、ない子にとってはある子へのポジティブな態度や認識の発達が得られ、双方にメリットがあると感じています。



大直近の5年は、次の世代が引き継げるよう見直し、事業の再構築を重ねました。大きな転機となったのは2012年「ガゼルの森」の設立です。藤枝市から、障がい児通園施設と城南保育園を民営化し、法人の事業とすることで、理想と



▲ハルモニアの法人口ニ

日指すべき 「インクルージョン」の姿

を込めました。福祉とは「幸せになる」とだと思います。本来「幸せ」とは「し合わせる」の意味。人がつながり、いきいきとした生活につながる。それが福祉の目指すゴールだと考えたとき、ハルモニアはそのインフラの一歩として、つながりや支え合いを生み出す「円満な幸せ」を生む組織になつたらいいなと思ったのです。ロゴマークの赤と青をつなぐ黄色い帯は、ハルモニアが企業と人、地域と人とをつなげる橋渡しとしてのミッションを表現したものですが、今回、その基盤が15年 の間で形になつていることを、あらためて感じています。

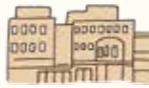


澤田祐一

美術教師として38年間教壇に立ちアーティストとしても活躍。2020年6月に新理事長に就任。ハルモニア発足時の理事の一人。島田市出身。

灣そうですね農福連携は、街づくりであり、仕事づくりであり、人づくり。それらを地域に巻き込む力が、ハルモニアにはあります。一里山からは、ちょうど旧東海道の松並木が見えるんです。私はアーティストとして松をテーマに創作をしてきましたが、松並木は完成に200年ぐらいかかります。おそら

人と地域の幸せを実現するためには



地域社会の中で
誰もが輝ける
環境を目指して

**地域社会の中で
誰もが輝ける
環境を目指して**

していく必要があります。私も見えていないものを見たために、スタッフや地域のみなさまと積極的にコミュニケーションを取っていきたい。そして、生活が潤つ「し・合わせ」づくりのためのつながりを築いていきたいと思います。

A close-up portrait of a woman with short brown hair, smiling warmly at the camera. She appears to be middle-aged. The background is slightly blurred, suggesting an indoor setting.



大長

福祉法人ハルモニア前理事長。神
県相模原市で社会福祉活動を始め、
4年に藤枝市にハルモニアを設立。
市出身。

10

10

三

Sawada Yuichi

これからの時代に、福

設立から15年。「ハルモニア」は多様な事業を展開し、地域に新しい福祉の風を吹き込んできました。その先頭に立って牽引してきた大長昭子理事長が退任し、新たに澤田祐一新理事長が就任。これまでを振り返りつつ、ハルモニアが進むべき道について語り合いました。

「ニアにとつて、大きな成果だ」と思っています。

今回、ハルモニア立ち上げメンバーの一人であり、ハルモニアという名称、そして口ゴも提案して下さった澤田祐一さんに後任をお願いすることになりました。

基盤を作った15年

大長(以下、大) ハルモニア 創設から最初の10年間は、福祉サービスが少なかつたこの地域のニーズに合わせて必要なサービスを作っていました。当時は一つの建物に二つの事業所からスタート。地域の皆さまのご理解をいただきながら事業を増やしていきました。

具体的な例の一つが、就労支援。地元企業と就労契約を結び、企業内で働きながら作業訓練を積み重ねるという仕組み作りです。結果として、10年間で約100人の利用者が企業に就職することできました。これはハルモニア

新旧埋事長対談

星田祐一×大長昭子

Sawada Yuichi  **Daicho Akiko**

これからの時代に、福祉が進む道。

立から15年。「ハルモニア」は多様な事業を展開し、地域に新しい福祉の風を吹き込んできました。その顔に立って牽引してきた大長昭子理事長が退任し、新たに澤田祐一新理事長が就任。これまでを振り返りつつ

ハルモニアが進むべき道について語り合いました。

基盤を作った15年

大長(以下、大) ハルモニア 創設から最初の10年間は、福祉サービスが少なかつたこの地域のニーズに合わせて必要なサービスを作っていました。当初は一つの建物に二つの事業所からスタート。地域の皆さまのご理解をいただきながら事業を増やしていました。

具体的な例の一つが、就労支援。地元企業と就労契約を結び、企業内で働きながら作業訓練を積み重ねるという仕組み作りです。結果として、10年間で約100人の利用者が企業に就職することができます。これはハルモニアにとって、大きな成果だと思っています。

今回、ハルモニア立ち上げメンバーの一人であり、ハルモニアという名称、そして口ゴも提案して下さった澤田祐一さんに後任をお願いすることになりました。

澤田(以下、澤) よろしくお願ひします。ハルモニアには当初から、保護者の一人とし

社会福祉法人 **ハルモニア**

ご支援・ご協力ありがとうございます

(2019年10月1日～2020年4月1日)

敬称略・順不同

古紙回収

合計128ヶ所

パン販売

藤枝平成記念病院

学校法人藤枝学園
藤枝明誠高等学校

花ぼうろ

藤枝市 焼津市 島田市 町内会 ほか

合計123ヶ所

合計2ヶ所

寄付

ガゼルの森保護者会

施設外就労・施設外支援

(株)村上開明堂

(株)静環検査センター

殿村食品(株)

レック(株)

合計4ヶ所

寄贈



マスク・消毒液

村上開明堂より



絵本(大型絵本6冊、絵本2冊)

ガゼルの森保護者会より



防災用井戸

ハルモニア後援会より

今まで防災用倉庫、発電機を含む防災用品などをご寄付いただき、今回はハルモニア本館に被災時に使用できる井戸を設置していただきました。



ハルモニアの決算詳細、事業内容等は
ホームページで公開しています。

是非、ハルモニアホームページへお越しください。



<http://www.harmonia-fujieda.com>

HARMONIA MAGAZINE 表紙こぼれ話



ありがとう。これからふくし

「もっと知りたい“ふじえだ”のこれから」からスタートした、このハルモニアマガジンでは“つながる”をテーマに様々な企業・団体・個人の方との出会いと発見がありました。当法人は福祉の世界だけではなく、社会の課題や地域の困り事と向き合い、感謝の気持ちと共に、これからも前に進み続けます。